



令和3年10月29日

# かみせや

横浜市立上瀬谷小学校 学校だより

11月号

上瀬谷小学校教育目標

学び合う子

認め合う子

きたえ合う子

## 自然と遊ぶ

学校長 大竹 貴子

さわやかな秋空に応援団の元気な声が響き渡り、スポフェスへの期待や意欲が伝わってきます。今年度は、昨年の参観人数制限に加え、低・中・高学年別入れ替え制を行うことにいたしました。開閉会式や応援合戦等をご覧になれない保護者の皆様には、大変申し訳なく存じますが、どうぞお子さまの活躍する姿に温かい声援をお願いいたします。

上瀬谷小の周りは畑で囲まれ、四季折々の風景を見せてくれます。どの季節もとてもきれいで、心がほっとします。

私は、小学1年の秋から4年生まで、東希望ヶ丘小学校に通っていました。家は、二俣川の運転試験場に近い場所にありました。今では住宅が立ち並ぶ街並みですが、当時は家の一本道を挟んだ向かいに森があり、その森の中を4、5分歩いて抜けると、一面田んぼが広がっていました。あちこちに原っぱもあり、友達数人でよく外で遊びました。

春は、田んぼでゼリー状のひものなかにあるカエルの卵を棒でつついたり、生まれたての小さいオタマジャクシをつかまえたりしました。夏になると、腕の長さほどある穴に肩まで手を入れザリガニを捕まえたりもしました。3人きょうだいだった我が家は3匹まで生き物を飼ってよいというルールがあったので、あるときはカエルを、その次はザリガニ、カナブン、カブトムシなど季節の生き物を飼って楽しみました。きょうだいと世話を押し付け合って叱られたり、ふたのない水槽で飼っていたオタマジャクシが、ある朝一匹もいなくなっていてショックをうけたり、失敗もいっぱいしました。

植物も格好の遊び道具でした。夏には、大きなクズの葉を、筒状にした左手にのせ、右手で思い切り叩くとパーンという大きな音を出して遊びました。友達と誰が一番大きな音を出せるか競い合ったり、笹の葉で船を作り、小川に流して競争したりもしました。秋になると、「くつつき虫」と呼んでいたオナモミを投げ合って遊びました。登校班で並んだときに、こっそり前の友達の背中につけるいたずらをして成功したと思っていたら、教室に入った時に他の友達から「背中にくつつき虫がついているよ。」と言われ、「お互い様だった!」と思ったこともありました。

子どもは、身の回りのいろいろな物で遊びを見つけ、友達とかかわり、小さな失敗を重ねて成長していきます。昔と違い、交通量も多く危険なこともあります。自然豊かなこの上瀬谷の子どもたちも、四季それぞれの自然の遊びを経験してほしいと思います。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、地域で遊ぶ子どもたちの見守りをどうぞよろしくお願いいたします。

